

<定点把握感染症>

※表中の数値 上段:報告数 下段:定点当たり報告数

※定点当たり報告数が、▲:2週連続増加、△:今週増加、▼:2週連続減少、▽:今週減少

※ ◎ :警報レベル

○ :注意報レベル

疾患名	全国		山形県			村山地区			最上地区			置賜地区			庄内地区			累積(県)
	第21週	第22週	第21週	第22週	増減	第21週	第22週	増減	第21週	第22週	増減	第21週	第22週	増減	第21週	第22週	増減	
インフルエンザ定点 (定点医療機関数)			(48)			(20)			(5)			(10)			(13)			
インフルエンザ	3344 0.68	86 1.79	36 0.75	▼		45 2.25	24 1.20	▼	3 0.60		▼	27 2.70	10 1.00	▼	11 0.85	2 0.15	▽	11380
小児科定点 (定点医療機関数)			(30)			(13)			(3)			(6)			(8)			
RSウイルス感染症	698 0.22	5 0.17	6 0.20	△		5 0.38	4 0.31	▽					2 0.33	△				140
咽頭結膜熱	2867 0.91	29 0.97	31 1.03	▲		13 1.00	14 1.08	▲	1 0.33		▽	14 2.33	17 2.83	▲	1 0.13		▽	236
A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	10334 3.26	190 6.33	208 6.93	▲		99 ◎7.62	125 ◎9.62	▲	5 1.67	1 0.33	▽	43 7.17	52 ◎8.67	▲	43 5.38	30 3.75	▽	3827
感染性胃腸炎	22877 7.23	291 9.70	270 9.00	▼		120 9.23	126 9.69	▲	7 2.33	10 3.33	▲	97 16.17	94 15.67	▽	67 8.38	40 5.00	▽	3255
水痘	1626 0.51	14 0.47	27 0.90	△		8 0.62	4 0.31	▽				2 0.33	6 1.00	△	4 0.50	17 2.13	△	336
手足口病	3077 0.97	7 0.23	14 0.47	▲		4 0.31	8 0.62	▲	3 1.00	6 2.00	▲							57
伝染性紅斑	330 0.10	19 0.63	30 1.00	▲		1 0.08	2 0.15	▲	3 1.00	2 0.67	▼	12 ◎2.00	25 ◎4.17	▲	3 0.38	1 0.13	▽	137
突発性発しん	1846 0.58	24 0.80	27 0.90	▲		4 0.31	7 0.54	▲		2 0.67	▲	16 2.67	13 2.17	▽	4 0.50	5 0.63	▲	432
百日咳	28 0.01	2 0.07	2 0.07				1 0.08	▲		1 0.33	▲				2 0.25		▽	12
ヘルパンギーナ	739 0.23	1 0.03	1 0.03									1 0.17		▽		1 0.13	▲	22
流行性耳下腺炎	1471 0.46	6 0.20	5 0.17	▼		1 0.08	3 0.23	▲				4 0.67	2 0.33	▼	1 0.13		▽	386
眼科定点 (定点医療機関数)			(8)			(4)			(1)			(1)			(2)			
急性出血性結膜炎	10 0.01																	
流行性角結膜炎	605 0.87		1 0.13	▲			1 0.25	▲										40
基幹定点 (定点医療機関数)			(10)			(4)			(1)			(2)			(3)			
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	200 0.42	2 0.20	3 0.30	▲		2 0.50	2 0.50									1 0.33	▲	58
クラミジア肺炎	3 0.01																	
マイコプラズマ肺炎	115 0.24	4 0.40	4 0.40			1 0.25	2 0.50	▲	1 1.00		▽				2 0.67	2 0.67		91
細菌性髄膜炎	7 0.01																	1
無菌性髄膜炎	18 0.04																	4

<全数把握感染症>

疾患名	類型	報告数				備考
		村山	最上	置賜	庄内	
結核	患者	3		1	1	
E型肝炎	患者				2	※第21週追加報告 1件有り。
劇症型溶血性レンサ球菌感染症	患者	1				
梅毒	患者	1				
侵襲性肺炎球菌感染症	患者				1	※第21週追加報告分。肺炎球菌ワクチン接種歴無し。

<通信欄>

※定点把握感染症のグラフ・全数把握感染症の年間累積数については別紙(グラフページ)をご覧ください。

<定点把握感染症 報告患者数 年齢別>

インフルエンザ定点	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20～29歳	
インフルエンザ			1			4	3	1	2	2	2	14	4		
	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳～									合計
	3														36
小児科定点	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20歳～	合計
RSウイルス感染症	1	2	2	1											6
咽頭結膜熱		7	12	1	2	4	3	2							31
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		2	13	24	18	16	21	27	20	15	11	34	1	6	208
感染性胃腸炎	2	34	53	42	30	32	23	16	6	7	7	14	1	3	270
水痘					5	4	4	1	7	2	3	1			27
手足口病		3	6	2		1	1		1						14
伝染性紅斑				1	5	9	9	1	1	1	2	1			30
突発性発しん		7	19				1								27
百日咳	1										1				2
ヘルパンギーナ		1													1
流行性耳下腺炎				1	1				1		1	1			5

<平成29年4月 月報>

2017年5月17日 発行

疾患名	山形県		村山地区		最上地区		置賜地区		庄内地区		累積(県) 1～4月
	3月	4月	3月	4月	3月	4月	3月	4月	3月	4月	
STD定点 (定点医療機関数)	(10)		(4)		(1)		(2)		(3)		
性器クラミジア感染症	報告数 15	19	3	7	10	11	1	1	1		68
	定点当り 1.50	1.90	0.75	1.75	10.00	11.00	0.50	0.50	0.33		
性器ヘルペスウイルス感染症	報告数 8	6	1	1	1	1	6	2		2	27
	定点当り 0.80	0.60	0.25	0.25	1.00	1.00	3.00	1.00		0.67	
尖圭コンジローマ	報告数 1	1		1			1				3
	定点当り 0.10	0.10		0.25			0.50				
淋菌感染症	報告数 3	5	1	3			1		2	1	13
	定点当り 0.30	0.50	0.25	0.75			0.50		0.67	0.33	
基幹定点 (定点医療機関数)	(10)		(4)		(1)		(2)		(3)		
ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	報告数 5	5		1			1		5	3	26
	定点当り 0.50	0.50		0.25			0.50		1.67	1.00	
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	報告数 23	17	8	8	1		1	2	13	7	73
	定点当り 2.30	1.70	2.00	2.00	1.00		0.50	1.00	4.33	2.33	
薬剤耐性緑膿菌感染症	報告数										1
	定点当り										

<トピックス>

【A群溶血性レンサ球菌咽頭炎情報】

今週、A群溶血性レンサ球菌感染症の定点当たり報告数が、村山地区と置賜地区で警報レベルを上回りました。

・A群溶血性レンサ球菌咽頭炎
警報開始基準値:8人 警報終息基準値:4人
・第22週定点当たり報告数
村山:9.6人 最上:0.3人 置賜:8.7人 庄内:3.8人

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎とは

A群溶血性レンサ球菌による上気道の感染症です。

【症状】2～5日の潜伏期の後、突然の発熱(38℃以上)、咽頭発赤、苺舌

(写真1)などの症状が現れます。通常、熱は3～5日以内に下がり、1週間以内に症状は改善します。治療は、抗菌剤が有効です。肺炎などの合併症を防ぐためにも、症状が改善しても医師に指示された期間、薬を飲むことが大切です。

【感染経路と予防法】この病気は、患者の咳やくしゃみ等のしぶきに触れること等で感染しますので、一般的な予防対策(手洗いや咳エチケット等)が大切です。また、咽頭痛がある場合は、早めに医療機関を受診しましょう。



写真1: 典型的な苺舌
(国立感染症研究所ホームページより)

【伝染性紅斑(リンゴ病)情報】

伝染性紅斑の定点あたり報告数が、置賜地区で警報レベルとなっています。

・伝染性紅斑
警報開始基準値:2人 警報終息基準値:1人
・第22週 定点当たり報告数
村山地区:0.2人 最上地区:0.7人 置賜地区:4.2人 庄内地区:0.1人

【症状】

10～20日の潜伏期の後、両頬に鮮明な赤い発疹が現れ、続いて手足にもレース様の発疹が現れます。なお、頬に発疹が現れる7～10日前に、微熱や風邪の様な症状がみられることが多く、この時期にもっとも感染力が強くなります。予後は通常良好ですが、妊婦が感染した場合、胎児水腫または流産を起こすことがあるので注意が必要です。

【予防法】

伝染性紅斑にはワクチンはありません。また、感染力のある時期には、特徴的な症状を示さないため、日頃からの手洗い・うがい重要です。

【インフルエンザ情報】

インフルエンザの県全体の定点当たり報告数は0.8人となりました。

1 迅速診断キットによるインフルエンザウイルスの陽性件数(第22週)

県全体の件数: A型 3件、B型 32件、不明 1件

2 集団発生状況(県健康福祉企画課まとめ 第22週)

庄内地区:1施設(小学校1)